

スーパーロボットとリアルロボットという違い

川悠歩

ロボットアニメという作品の代名詞ともいえる機動戦士ガンダムは、「リアルロボットものの先駆け」とされる。このリアルロボットという概念はリアリティ、つまり実在感を持ったロボット作品を指す言葉とされ、対するワードとしてスーパーロボットという概念が存在する。

だが、このリアルロボットという概念の先駆けとなった機動戦士ガンダムの以前や以後のロボットアニメを比較すると、ガンダム以前のスーパーロボットとされる作品にもリアリティを持った要素はしっかりと存在しており、またガンダムやそれ以降のリアルロボットに分類されるような作品もすべてがリアリティを持った要素で構成されているわけではないことが分かる。

スーパーロボットもリアルロボットもリアリティのある要素を持つ作品であるのなら、両者の本当の違いはリアリティのある要素の有無ではなく、リアリティのある要素の量や割合なのではないか。つまり、ロボットアニメを二分する要素としてスーパーロボットとリアルロボットが存在するのではなく、リアルロボットという概念はすべてスーパーロボットに内包されている。そしてリアルロボットとはリアリティを持つロボット作品のことではなく、リアリティを持つ要素を多く含むロボット作品がそれらの中でもリアルロボットと呼ばれているのではないだろうか。